

サイエンス・デイ 2017 に参加し、世界防災フォーラムの紹介を行いました(2017/07/16)

テーマ：東日本大震災、世界防災フォーラム、サイエンス・デイ
場所：東北大学川内キャンパス（宮城県仙台市青葉区）

2017年7月16日（日）、東北大学川内キャンパスを中心にサイエンス・デイ 2017 が開催されました。災害科学国際研究所は、世界防災フォーラム事務局として「防災クイズに答えて世界を目指せ！」と題する体験ブースの場を設け、訪れた子どもやその家族に向けて、防災クイズや災害科学の授業を行いながら、世界防災フォーラムの広報活動を行いました。

災害科学の授業として、小野裕一教授（情報管理・社会連携部門）、岡田真介助教（災害理学研究部門）が、それぞれの専門分野である「竜巻」「活断層」に関し、小学生にも理解できるように親しみやすく説明を行いました。また、災害時に取るべき行動を体験的に学習する「防災ダック」や世界の災害に関する「クイズ世界防災フォーラム」も実施しました。「クイズ世界防災フォーラム」は勝ち残り式で、子どもたちは真剣に参加していました。当日は、のべ155名（うち子ども72名、大人83名）の来場者があり、すべての方々に『世界防災フォーラム』のチラシを配布し、クイズにおける健闘をたたえる賞状を贈呈しました。また、小野教授、岡田助教の他、広報室の中鉢奈津子特任助教、鈴木通江技術補佐員と情報管理・社会連携部門の菊地由里子技術補佐員（世界防災フォーラム事務局）が、準備段階から当日の運営まで携わりました。



小野教授による「竜巻」の授業



岡田助教による「活断層」の授業



「防災ダック」の様子



「クイズ世界防災フォーラム」の様子

文責：小野裕一（情報管理・社会連携部門）、岡田真介（災害理学研究部門）
中鉢奈津子（広報室）

写真：鈴木通江（広報室）